

CSR REPORT

CSRとは?・・・Corporate Social Responsibility
 (コーポレート ソーシャル レスポンシビリティ)
 企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくこと。

第1回 地域清掃活動報告 H28.8.24



<はじめたきっかけ>

21世紀に生き残れる会社は、いい製品を生み出すのは最低条件で
 「地域に役立ち・根付き・活力を与えられる会社」だと経営品質から学びました。
 そこで、アルメックができることから始めたいと考え部門長から意見を募りました。

正直、そんなにごみなんてそんなに落ちていないと思っていました。

探してみると出てくる出てくる! 「こんなところから!?」と思うようなところにもごみが落ちていたりして、たくさんの発見がありました。

今でも自分が掃除した箇所がきれいになっているところを見ると、とても気持ちがよく嬉しい気持ちがかみ上げてきます。

また先日の木鶏クラブでは、大橋次長が「10年働いていて初めて近所の方におはようと声をかけてもらえてびっくりした」と仰っていました。

他の方からも朝掃除に関する話題がたくさん出て、これを続けていけば必ず何か成果が見えてくるはずだと実感する事ができました。

継続は力なり! これで終わるのではなく、今後もずっと続けていきたい活動だと思いました。

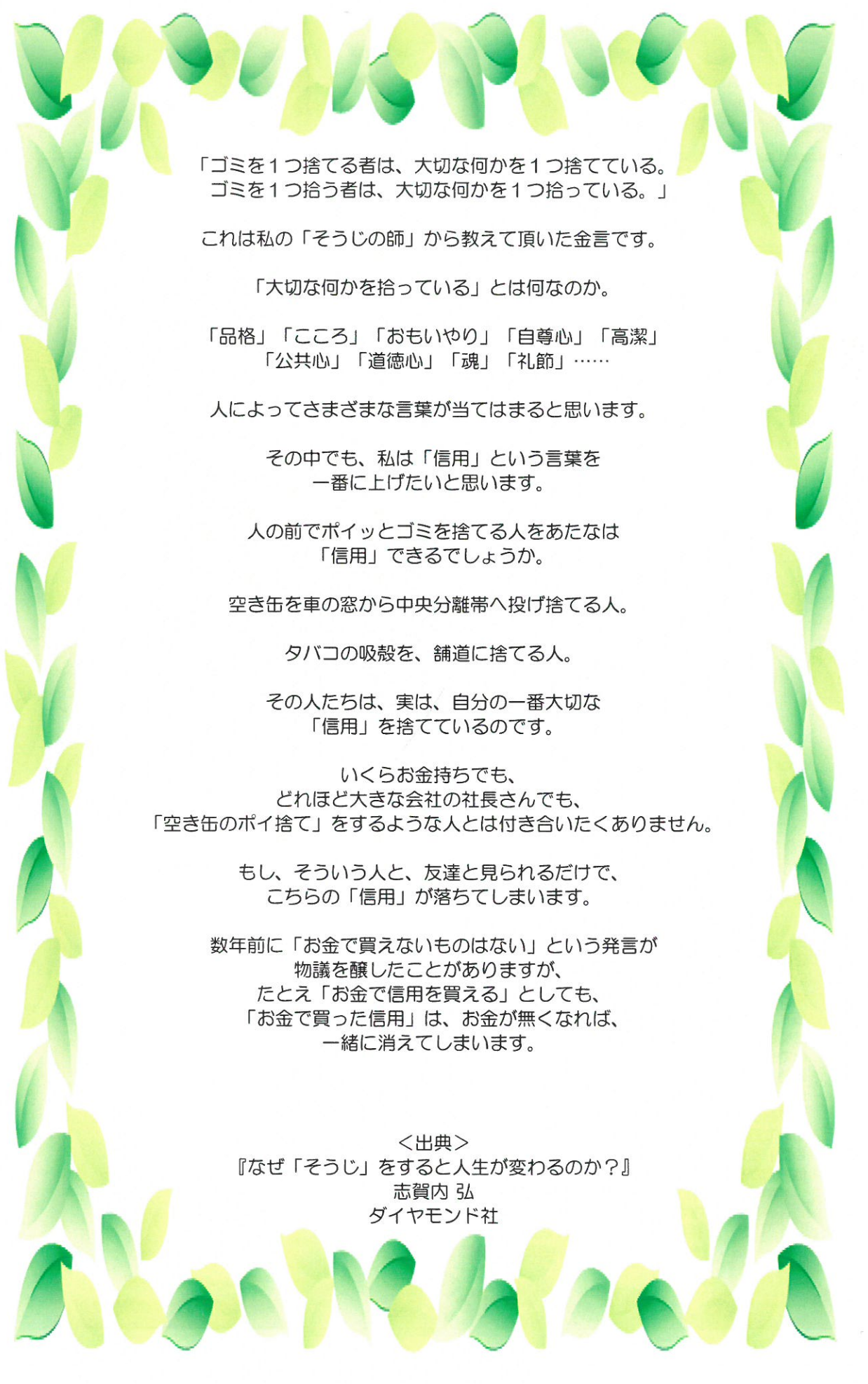


～今後の日程～

第2回	9月14日
第3回	9月28日
第4回	10月12日
第5回	10月26日
第6回	11月 9日
第7回	11月23日
第8回	12月14日
第9回	12月28日

※毎月第2&第4水曜日





「ゴミを1つ捨てる者は、大切な何かを1つ捨てている。
ゴミを1つ捨てる者は、大切な何かを1つ捨てている。」

これは私の「そうじの師」から教えて頂いた金言です。

「大切な何かを捨てている」とは何なのか。

「品格」「こころ」「おもいやり」「自尊心」「高潔」
「公共心」「道徳心」「魂」「礼節」……

人によってさまざまな言葉が当てはまると思います。

その中でも、私は「信用」という言葉を
一番に上げたいと思います。

人の前でポイッとゴミを捨てる人をあなたは
「信用」できるでしょうか。

空き缶を車の窓から中央分離帯へ投げ捨てる人。

タバコの吸殻を、舗道に捨てる人。

その人たちは、実は、自分の一番大切な
「信用」を捨てているのです。

いくらお金持ちでも、
どれほど大きな会社の社長さんでも、
「空き缶のポイ捨て」をするような人とは付き合いたくありません。

もし、そういう人と、友達と見られるだけで、
こちらの「信用」が落ちてしまいます。

数年前に「お金で買えないものはない」という発言が
物議を醸したことがあります、
たとえ「お金で信用を買える」としても、
「お金で買った信用」は、お金が無くなれば、
一緒に消えてしまいます。

<出典>

『なぜ「そうじ」をすると人生が変わるのか?』

志賀内 弘

ダイヤモンド社